

1 国語

学校番号

208

令和3年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	5	年次	1
使用教科書	「精選国語総合〔改訂版〕」（三省堂）						
副教材等	「ビジュアルカラー 国語便覧」（大修館書店） 「TOP2500 改訂版」（いいずな書店） 「体系古典文法」（数研出版） 「体系古典文法ノート」（数研出版） 「速読レッスン論理1」（文英堂） 「速読レッスン古典1」（文英堂） 「古文単語301」（尚文出版） 「総合国語へのアプローチ」（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ

- ・国語総合とは、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけるための科目です。
- ・話し合いや文章記述、発表などで、自分の考えを表現する活動を行います。
- ・様々な文章に触れて情報を的確に読み取る「読む能力」、円滑なコミュニケーションに必要な「話す・聞く能力」、目的や相手に応じて適切な文章を「書く能力」を、それぞれしっかり伸ばしていきましょう。
- ・古典の時間では、有名な古文・漢文作品をとりあげます。物語に親しむために、語彙力や文法事項の知識をきちんと習得しましょう。
- ・提出物の期限は必ず守ってください。
- ・定期テストの勉強は計画的に行いましょう。予習・授業・復習の三段階勉強で、国語の力は身につきます。

2 学習の到達目標

- ・対話を通じて適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
- ・言語文化に対する関心を持ち、ことばを尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	表現	現代文 教材: 「スピーチをする」	○	◎			○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	随想	現代文 教材: 「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」	○			◎	○	a:考えの進め方や、書き手のものの見方など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、書き手のものの見方など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査および小テスト
	評論一	現代文 教材: 「水の東西」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト

	小説一	現代文 教材： 「羅生門」	○			◎	○	a:筆者について学び、人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	古文入門	古文 教材： 『今昔物語集』 「児のそら寝」 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の動詞の基礎	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	詩	現代文 「崖」 「サーカス」 「I was born」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説二	現代文 教材： 「清兵衛と瓢箪」	○			◎	○	a:筆者について学び、人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

	評論二	<p>現代文</p> <p>教材： 「情報と身体」</p>	○		◎	○	<p>a：筆者が述べる、情報と身体の関係について理解しようとしている。。</p> <p>d：電子的空間と身体的現実との往復運動の必要性に着目して、筆者が述べようとする事柄を理解している。。</p> <p>e：読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>d、e: 記述の確認と分析及び定期考査</p>
	評論三	<p>現代文</p> <p>「なぜ私たちは労働をするのか」</p>	○		◎	○	<p>a：「労働」は「私ひとり」が受益者ではないという筆者の見解を理解しようとしている。</p> <p>c：労働を巡る筆者の主張を、論理展開に着目して理解している。。</p> <p>e：読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。。</p>	<p>a:行動の観察</p> <p>c、e: 記述の確認及び定期考査</p>
2学期	短歌・俳句	<p>現代文</p> <p>〈俳句と短歌の代表的な作品を鑑賞し、作品を作り発表する〉</p> <p>教材:教科書に掲載された俳句と短歌</p>	○	◎		○	<p>a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。</p> <p>b:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。</p> <p>自作した短歌・俳句を発表し思いを伝える。また発表を聞いて仲間の思いを理解しようとする。</p> <p>e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>b、e: 発表態度、記述の確認と分析及び定期考査</p>
	漢文入門・故事	<p>漢文</p> <p>教材： 「漁夫之利」「蛇足」 「論語」 句法等…訓点、再読文字など</p>	○		◎	○	<p>a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。</p> <p>d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。</p> <p>e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。</p>	<p>a:行動の観察及び記述の点検</p> <p>d:記述の確認及び定期考査</p> <p>e:小テスト及び定期考査</p>

	物語(古文)	<p>古文</p> <p>教材: 『伊勢物語』 「芥川」 「東下り」</p> <p>文法等…文語の用言の活用</p>	○			◎	○	<p>a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。</p> <p>d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。</p> <p>e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>
	表現二	<p>現代文</p> <p>ディベートをするー マイクロディベート</p>	○	◎			○	<p>a: 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとしている。</p> <p>b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。</p> <p>e: 調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。</p>	<p>a、b、e: 記述の点検と確認及び分析</p>
	評論五	<p>現代文</p> <p>教材: 「想像力のゆくえ」</p>	○			◎	○	<p>a: 筆者が述べる「創造」の本質を理解しようとしている。</p> <p>d: 筆者の論理展開に着目して、筆者が述べようとする内容を理解している。</p> <p>e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認と分析及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>
3学期	小説Ⅲ	<p>現代文</p> <p>教材: 「なめとこ山の熊」</p>	○			◎	○	<p>a: 童話的・民話的な賢治特有の語り口のおもしろさに興味を持ち、またそれだけでなく、表現する上で「語り」が「主題」と密接に関わっていることを理解して内容に関心を深めている。</p> <p>d: 「小十郎」とそれぞれの「熊」の思いを場面場面において的確に理解している。また、それぞれの場面における〈語り手〉の思い〈楽しさ・共感・同情・怒り・悲しみ・祈り等〉についても理解している。</p> <p>e: 「方言」を使用することによって広がる言葉の豊かな世界について理解を深めている。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d、e: 記述の確認と分析及び定期考査</p>

様々な漢文を読む	漢文 教材： 「鶏口牛後」	○			◎	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
古文の和歌を味わい日記を読む	古文 教材： 『百人一首』 『奥の細道』 「旅立ち」	○			◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。